

大樹

みなさま
お変わりなく
お元気ですか

第20号

令和5年12月吉日
発行

香川県立保健医療大学同窓会翠丘会

すいきゅうかい

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1
TEL (087) 870-1212 (代)



「祈ることと行動すること」

翠丘会会長

松原 文子 (学校法人 穴吹学園 穴吹医療大学校 看護学科 非常勤講師)

香川県保健医療大学同窓会会員の皆様へ
皆様、お元気でお過ごしでしょうか。
日頃より、本同窓会の発展のためにご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

さて、香川県立保健医療大学の歴史を振り返りますと、早、65年が経過しました。

県立の看護と検査の養成学校は、どちらも昭和33年に創立し、平成11年に看護と検査を統合した香川県立医療短期大学（3年制）、平成16年に香川県立保健医療大学、さらに現在は看護師、助産師、保健師、臨床検査技師の前期・後期の大学院を開設しています。

平成16年からは、同窓会も香川県立保健医療大学「翠丘会」として統合され、本年で20年になります。令和5年本年の同窓会員数は、3,822人で、主な活動は、総会・記念講演会、文化祭等の協賛及び同窓会活動紹介、講演及び各研究活動の補助、大学図書館へ図書への寄贈、各卒業年度同窓会開催に対する補助などです。また、年に1回発刊の会報誌「大樹」を通して活動報告を行っています。さらに、令和4年度からは、同窓会ウェブサイトビキタ（Bikita）を開設しています。リアルタイムでの活動紹介や会員相互の交流が深まる場として、一層の活用が期待されていますが、現在、ログイン率4%と低迷しています。本年5月20日に開催した総会・記念講演「悲嘆を生きる」（大西美智恵氏）の様子もご覧できますので、この機会にぜひとも登録をお願いいたします。この記念講演会は、人々の心を揺さぶり大きな反響がありました。

さて、我が母校の65年の歴史の特徴は、その歩みからもわかるように地元、地域の要望に寄り添い身近に活動する専門職を輩出してきたことにあります。地域の健康づくりに貢献する優れた専門職を地元から輩出できたことは、先輩から後輩へと、

一人ひとりが顔の見える関係でバトンを繋いできたことです。

また、熱意溢れる諸先生方による大学の基本理念である「生命の尊厳を畏敬する深い人間愛」のもと、保健医療の高度な専門知識と技術を有した看護師、保健師、助産師、臨床検査技師を県内外の保健医療の現場に多数送り出してくださっていることに感謝いたします。さらに、地域に開かれた大学として生涯にわたる教育の場としての大学機能の強化に取り組んでおられることを心から誇りに感じております。

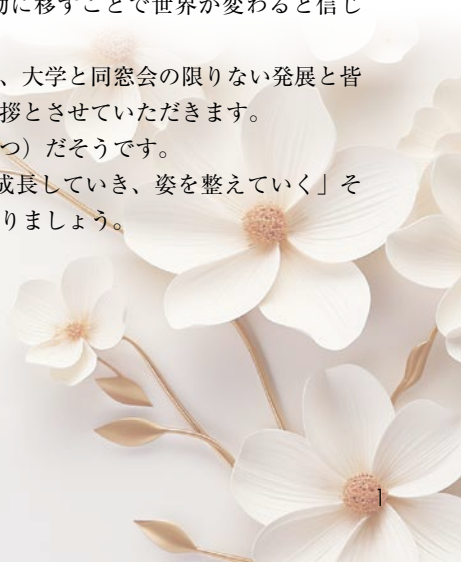
今、新型コロナウイルス感染症やウクライナ、パレスチナの戦闘被害などの世界的な政情不安、一方わが国では、虐待、相対的貧困、8050問題、孤立・孤独、ダブルケア等、様々な社会問題が山積しています。その重複・複雑化した問題解決は簡単ではないと誰もがわかっています。

しかし、一人ひとりの力は微々たるものでも、心から真剣に平和や調和や愛を祈り、行動することで良い方向に向かうと思います。自分自身も含めて、人々を慈しみ、家庭や職場、地域など様々な場面で身近なことから行動に移すことで世界が変わると信じます。

最後になりましたが、今後、大学と同窓会の限りない発展と皆様方のご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

来年は、甲辰（きのえ・たつ）だそうです。

甲辰は、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」そうです。共に頑張ってまいりましょう。





「卒業後からの3年間を振り返って」

三豊総合病院
吉田 結子

私は3年前に香川県立保健医療大学看護学科を卒業し、今は三豊総合病院で働いています。

私が働いている病棟は、消化器、腎臓、代謝科の混合内科で、透析導入や抗がん剤治療導入など治療方針の選択に関わる場面や、退院支援が必要な場面なども多くあります。3年目になり強く考えるようになったのは、医療者が思う最善の押し付けではなく、その人自身が自分らしさを尊重されたと感じられるようなケアや意思決定を支える関わりをしたいということです。

入職当時は漠然とその人らしさを支える看護がしたいと思っていましたが、新人の頃は仕事を覚えることやこなすことに精一杯で、その人らしさとはなにかを考える余裕もありませんでした。それどころか、自分が看護師としてやっていけるのか不安になっていたときに、プリセプターからかけてもらった言葉を今でも大切に覚えています。「新人にもそれぞれの個性があり、

あなたにはあなたの良いところがいっぱいあるから、自分らしくやっていけば大丈夫だよ」この言葉で自分らしく働くことを意識するようになりました。そして、自分らしさを認めてもらうことで、初めて患者さんのその人らしさを尊重することの大切さを実感できたように感じます。

病棟内では、スタッフ間でも互いの個性を尊重しながら仕事をしています。カンファレンスなどでは、それぞれの考えを持ち寄ったり、異なる視点を持って話し合ったりしながら、地域の中で生活する患者さんを様々な視点から理解するように努めています。

そんな職場では、看護師自身も自分らしさを生かして看護を提供し、患者さんのその人らしさを支えることを考える、とても充実した環境の中で仕事ができていると実感しています。

今では新人指導にも関わるようになり、日々勉強の毎日ですがとても充実しています。今後も人対人の相互作用の中で成長していけるよう頑張っていきたいと思います。



「臨床検査技師になり感じたこと」

高松赤十字病院
河原 広樹

臨床検査学科14期生の河原広樹と申します。私は臨床検査学科を卒業した後、高松赤十字病院に入職しました。入職して3年目になりますが、1年目は化学、2年目からは病理に所属しています。

大学の卒業研究では生理に所属していました。もともと形態学に興味があり、血液と迷った末に生理を希望しました。研究の中でエコーを使うことがあり、うまく画像を映すことができた時はとても嬉しかったのを覚えています。就職してから配属となった化学は、形態学とは真逆の、数字ばかりの世界で非常に不安でしたが業務で行うことはどれも新鮮で、すぐに興味を持つことができました。特に、毎日朝早くから多くのコントロールを測定し、値が外れるとキャリブレーションを行うなど、非常に手間をかけて精度管理を行っていることには驚きました。

現在所属している病理では、普段は目にするものの少ない臓器を見たり、そこから標本を作製するなど、四苦八苦しながらも非常に充実した日々を送っています。また、病理に配属されてからは仕事と並行して資格の勉強をしています。仕事が終わってからの勉強ということもあり体力的にもハードですが、普段行っている仕事を理解することにも繋がっており、周りの方々に支えられながら勉強に打ち込んでいます。勉強をする中で大学の授業で習ったよくわからない語呂や、脈絡のない覚え方などを思い出します。まさかこのようなところで役に立つとは思っていなかったのが懐かしく思うと同時に、印象的な授業をしてくださった先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

日々の仕事や勉強を通して、学び続けることの大切さを実感しています。医療は日々進歩しており、過去に取り残されることのないよう、常に学び続ける気持ちを持ちたいです。まだまだ1人前には程遠いですが、目の前のことを1つ1つこなしていき、1歩1歩前に進んでいけたらと思います。



「大学生活の学びと感謝」

保健医療学部
看護学科4年
高森 美咲
檀上 楓奈

私たちは、新型コロナウイルスが流行し始めた時期に入学しました。終わりの見えないコロナ禍での学生生活は制限も多く、4年間無事に終わることができるのか不安に思うこともありました。オンライン授業や学内実習に変更されたこと、臨地実習が可能になっても患者さんと関わることでできる時間に制限がある等、想像していた看護学生生活とかけ離れていることもありました。そのような制限がある中でも、様々な授業でのグループワークや演習を通して、臨床を見据えた看護実践について学ぶ機会を得ることができました。また、地域健康サポーター実習では実際に地域の方と関わり、地域との繋がりを学ぶことができたことに加え、看護に欠かせないコミュニケーションスキルを磨くこともできました。

4年間の学生生活では、座学で得た知識と演習で得

た技術を臨地実習で実践することを繰り返し、臨床の看護師さんや先生方から助言や指導を受けながら、受け持ち患者さんの看護に向き合いました。臨地実習は自分のできないことを痛感することも多く、勉強と実践を結び付けることに困難感を抱くこともありました。しかし、4年間の臨地実習を終えた今、看護学生として患者さんに真剣に向き合うことのできた実習はとても貴重であり、今後の基盤となる経験であったと振り返っています。4年間は長いようで短く、同じ医療職を目指す仲間を支えられ、互いに励まし合いながら、ここまで乗り越えることができました。

たくさんの仲間と優しく熱心に指導して下さった先生方と看護師さん、そして何より受け持ちをさせて頂いた患者さんに感謝し、今後も看護師として成長できるように前向きに学び続けていきたいです。



「4年間の大学生活を通して」

保健医療学部
臨床検査学科4年
仲山 佳歩

私が本学の臨床検査学科に入学した当初は、新型コロナウイルスの蔓延により大学へ登校できず、なかなか交友関係を築くことができませんでした。大学への登校が可能になった後も、マスクの常時着用やソーシャルディスタンスの確保など、想像した大学生活とは異なる大学生活を送りました。大学生活に慣れることがなかなかできず大変な時期ではありましたが、友達の家と一緒に料理や講義の勉強をすることで交友を深めていくことができました。また、マスク着用や手洗い、手指消毒など病院勤務で必須となる感染予防対策について、普段の生活を通して学ぶことができました。最近では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したため、大学祭や新入生歓迎会を再開することができ、徐々にコロナ禍以前の大学生活が戻ってきたように思います。

大学3年生の後期には、臨地実習として地域の病院に赴き、実際の医療に触れる機会がありました。病院

の検査部で働いている臨床検査技師の働き方を見学し、検査を行うスピードや機械操作の正確性、コミュニケーションスキルなど就職後に必要とされる能力を学ぶことができました。また、学内だけでは学ぶことができない現在臨床で求められる検査についての知識も教えてもらうことができました。病院実習を通して、現場で求められる検査技師像を知ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

私は臨床検査学科を卒業後、本学の大学院博士前期課程へ進学します。大学院では、卒業研究で行った研究内容を継続し、大学院の講義や英語論文を読んで自身の知識を深めつつ、将来臨床現場で働いたときに役立つ問題解決能力を身につけたいと思います。

第10回 同窓会「翠丘会」総会・記念講演会のご報告 (2023年5月20日開催)

令和5年5月20日(土)、香川県立保健医療大学 大講義室に於いて総会を開催しました。参加者50名、議長は久保典子様(看護専21回生)が務められ、議事が進行されました。入会状況、役員及び評議員、令和4年度事業報告、会計報告、監査報告、令和5年度事業計画案、予算案が事務局より報告され、議案すべてが承認されました。



総会終了後、記念講演を開催しました。参加者は59名でした。

香川大学名誉教授の大西美智恵先生を講師にお招きし、『悲嘆を生きる』というテーマでご講演をしていただきました。同窓会員の年齢は幅広く、医療にかかわる職種でもあることから、大西先生のご講演内容は、とても有意義であり貴重な時間でした。



大西先生のご講演は、**令和6年3月31日まで同窓会「コミュニティサイト ピキタ」より動画配信**中です。会員の皆様だけの特典となりますので、是非ともご覧いただければ幸いです。

健康サポーター活動報告

地域連携推進センター運営委員会

令和5年8月17日(木)、地域連携推進センター運営委員会が主催する「いきいき健康広場」が本学で開催されました。この地域連携推進事業は、健康サポーター養成講座を受講した本学の看護学科と臨床検査学科の1、2年生が中心となって、地域の方々に健康測定を行うもので、本年度は33名の学生の参加がありました。健康に関する測定項目としては、身長・体重・体脂肪・筋肉・水分量の測定、BMI、血圧・酸素飽和度、腹囲測定、骨密度検査が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、地域の方々への活動に制限がある中、当日は38名の地域の方々に参加していただきました。この事業は、学生たちが地域の方々と直接交流できる貴重な場です。多くの地域の方々に参加していただき、学生たちにとっても有意義な学びの機会となりました。



第22回 大学祭「橄欖祭」

同窓会では、11月11日に開催された大学祭において「健康戦隊 ケンサ&カンゴレンジャー」を出展しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2年間は大学祭自体が中止、昨年は展示のみでしたので、4年ぶりの開催でした。当日はいいお天気ではありませんでしたが、125名の方が参加してくださいました。

内容は以前と同様に、各コーナーを体験し「レンジャースタンプ」をゲット、5つの「レンジャースタンプ」がそろえばお茶とスイーツがもれなくプレゼントされるというものです。前回までは喫茶コーナーを設営していましたが、今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からお持ち帰りいただきました。

今回の体験コーナーは、「病理検査染色の体験」（染色レッド）、「呼吸音聴取体験」（呼吸音イエロー）、「赤ちゃん抱っこ体験」（赤ちゃんピンク）、「超音波体験」（エコーグリーン）、体成分測定体験（インボディーブルー）を企画しました。終了後の人気投票は、インボディーブルーが追いつけましたが、やはり第一位は例年通りエコーグリーンでした。ただ、どのコーナーもよかった、説明もよく分かったとのご意見や、体験をされている方々の笑顔に元気をいただき、今後はさらに面白い企画でもっと笑顔になれる「健康戦隊 ケンサ&カンゴレンジャー」にできればと思います。



クラス同窓会開催助成について

- 看護専門学校 臨床看護学科 16回生、令和5年3月16日～17日開催
総本山善通寺 宿坊いろは会館、9名参加
活動内容：宿坊で法話や早朝のお勤めへの参列、食事や買い物などを行った。
- 看護専門学校 公衆衛生看護助産学科 14回生、令和5年5月19日開催
ホテルパールガーデン、6名参加
活動内容：同窓会総会に合わせて同窓会を開催し、番町の母校跡地を訪問した。
- 大学院保健医療学研究科 1回生、令和5年7月22日開催
讃岐地人食堂旬彩 汐さぎ！庵、6名参加
活動内容：会食にて旧交を温めた。
- 看護専門学校 臨床看護学科 22回生、令和5年10月28日開催
古民家・鳥料理くわい高瀬、20名参加
活動内容：教員1名も参加し、会食や父母ヶ浜の観光を行った。

お知らせコーナー

●同窓会名簿（2023年版）の販売について

購入希望同窓会員に、4,000円（送料込み）で販売可能です。

連絡先：香川県立保健医療大学同窓会事務局 TEL (087) 870-1212 (代)

令和4年度収支決算

令和5年度収支予算案

収入の部			内訳	
	4年度予算額	4年度決算額		
会費収入	1,907,000	1,907,000	新入会員 74 名 (在校生 2 名含む)	
雑収入	500	856	利子等	
繰越金	1,546,179	1,546,179		
積立金からの移動	0	0		
その他	0	0		
合計	3,453,679	3,454,035		
支出の部				
	260,000	105,677		
会議費	160,000	0	総会 0 回	
会場代	10,000	0		
講演費	100,000	0		
軽食代	30,000	0		
雑費	20,000	0		
(2) 役員会	100,000	105,677	役員・評議員会 3 回	
旅費	40,000	42,000		
軽食代	60,000	63,677		
事業費	650,000	644,547		
(1) 会報誌発刊	450,000	446,547		
(2) 同窓会名簿作成	200,000	198,000	Bikita 年間利用料	
(3) 記念品作製	0	0		
事務費	340,000	17,462	役員会案内発送代を含む	
(1) 通信費	300,000	11,042		
(2) 消耗品	20,000	440		
(3) 雑費	20,000	5,980	入学式アルバイト代、ATM 硬貨預払料金	
入学式	7,000	0		
(1) 旅費	7,000	0		
卒業式	307,000	181,850		
(1) 旅費	7,000	0		
(2) 記念品・花束	300,000	181,850	記念品 145,000 円 + 花束 36,850 円	
大学支援金	510,000	353,716	(大学支援金内訳) オープンキャンパス: 19,760 円 助産師交流会: 29,406 円 図書館の資料購入: 241,795 円 国際交流イベント: 49,280 円 退職教員花束: 13,475 円	
その他	50,000	0		
支出小計	2,124,000	1,303,252		
次年度繰越金	1,329,679	2,150,783		
支出合計	3,453,679	3,454,035		
積立金				
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000		
百十四銀行	3,005,527	3,005,578		

収入の部			内訳	
	5年度予算額	4年度決算額		
会費収入	2,088,000	1,907,000	新入会員 87 名	
雑収入	500	856	利子等	
繰越金	2,150,783	1,546,179		
積立金からの移動	0	0		
その他	0	0		
合計	4,239,283	3,454,035		
支出の部				
	260,000	105,677		
会議費	160,000	0	総会 1 回	
会場代	10,000	0		
講演費	100,000	0		
軽食代	30,000	0		
雑費	20,000	0	総会花代、総会資料郵送代、講師交通費等	
(2) 役員会	100,000	105,677	役員・評議員会 2 回	
旅費	40,000	42,000	役員会交通費	
軽食代	60,000	63,677	延べ 40 名	
事業費	1,320,000	644,547		
(1) 会報誌発刊	450,000	446,547		
(2) 同窓会名簿作成	200,000	198,000	Bikita 年間利用料	
(3) 記念品作製	20,000	0		
(4) 専門図書購入支援	500,000	0		
(5) 各クラス同窓会開催助成金	150,000	0		
事務費	340,000	17,462	役員会案内発送代を含む	
(1) 通信費	300,000	11,042		
(2) 消耗品	20,000	440		
(3) 雑費	20,000	5,980	入学式アルバイト代、ATM 硬貨預払料金	
入学式	7,000	0		
(1) 旅費	7,000	0	会長旅費他	
卒業式	307,000	181,850		
(1) 旅費	7,000	0		
(2) 記念品・花束	300,000	181,850	記念品代、花束代	
大学支援金	500,000	353,716	(大学支援金内訳) 国際交流事業、大学祭での同窓会出席、 助産師交流会、保健師交流会、退職教員 への花束等	
その他	50,000	0		
支出小計	2,784,000	1,303,252		
次年度繰越金	1,455,283	2,150,783		
支出合計	4,239,283	3,454,035		
積立金				
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000		
百十四銀行	3,005,527	3,005,578		

令和5年度事業計画

香川県立保健医療大学同窓会事業計画

1. 組織に関する事項

- 1) 会員増加対策
 - (1) 新入生に対する入会推奨
 - (2) 在校生未加入者への働きかけ
- 2) 役員・評議員会(年2回)
- 3) 総会・記念講演会(2年に1回)
- 4) 会員相互のつながりの強化

2. 同窓会活動に関する事項

- 1) 会報誌「大樹」発刊(20号)
- 2) 大学祭での出展
- 3) 大学HPの同窓会の内容充実など

3. 在校生に関する事項

- 1) 大学委員会への支援(事業担当者から企画書提出)
 - (1) 大学図書館への専門書購入支援
- 2) 大学行事への支援(事業担当者から企画書提出)
 - (1) オープンキャンパス
 - (2) 国際交流事業
- 3) 会員参加による事業への支援
 - (1) 臨床検査技師交流会、助産師交流会、保健師交流会
- 4) 入学式、卒業式、修了式
 - (1) 卒業生、修了生への花束贈呈
 - (2) 学生会員への卒業生、修了生への記念品贈呈
 - (3) 学生会員への入会記念品配布(トートバッグまたはマグカップ)

香川県立保健医療大学
同窓会通常会員入会状況

(令和5年4月13日現在)

歴代学校名	人数(人)
香川県衛生検査技師養成所	156
香川県臨床検査専門学校	348
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,188
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	457
計	2,149
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	67
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	167
香川県立保健医療大学臨床検査学科	277
香川県立保健医療大学看護学科	844
香川県立保健医療大学助産学専攻科 ※	32
香川県立保健医療大学大学院 ※	13
計	1,166
臨床検査学科在学生(うち令和5年度新入会員)	79(20)
看護学科在学生(うち令和5年度新入会員)	234(67)
大学院(うち令和5年度新入会員) ※	27(0)
計	340
合計	3,822

※助産学専攻科生および大学院生のうち大学の卒業生ですべて同窓会に加入しているものは除く

香川県立保健医療大学
同窓会(翠丘会)役員・評議員名簿

(令和5年4月21日現在)

役職名	氏名	回生	区域
会長	松原文子	看専16・看公助14	高松
副会長	宮川朱美	臨専9・大学院1	中讃
副会長	富山清江	看専22	東讃
副会長	野口純子	看専19・看公助17	教員
幹事(会計)	小河佳織	短大検3・大学院1	教員
幹事(会計)	植原千明	大看2	教員
幹事	奥田潤	臨床検査学科教員	教員
幹事	小谷咲羽	大学18・看護学科3年	学生
監事	吉本和子	臨専9	高松
監事	松本久美恵	看専21	高松
評議員	吉井由美子	看専21	高松
評議員	高木美香	看専31・看公助29	高松
評議員	瀧川実穂	看専25・看公助27	高松
評議員	高坂知子	短大検1	高松
評議員	筒井正人	短大検1	高松
評議員	小林紀子	短大看1	西讃
評議員	金丸雅子	短大看3	中讃
評議員	堀井和世	短大検2	高松
評議員	小林秋恵	看専26	教員
評議員	高森美咲	大学17・看護学科4年	学生
評議員	浅田来春	大学17・検査学科4年	学生
評議員	山田冴花	大学17・検査学科4年	学生

国家試験合格状況

多くの学生が県内の医療機関や施設に就職しました。

種別	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
令和4年度	受験者数 68人	20人	3人	22人
	合格者数 68人	20人	3人	21人
合格率	本学	100.0%	100.0%	95.5%
	全国平均	90.8%	93.7%	77.6%

*合格率の全国平均は、新卒者のみの全国平均です。

住所変更は、小野高速印刷(株)までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288 FAX 0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info